

(リスクアセスメント) 標識看板清掃 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱	主な設備、仕様機械	2tトラック、2tダンプ	主な使用工具、器具	雑巾、脚立、バケツ、水	安全設備、保護具	ヘルメット、手袋、安全靴、安全長靴、安全チョッキ	使用材料	
作成日	令和6年11月26日								
改訂日									
作成者	澤田						しらすんだー受信機		
必要資格等	運転免許(準中型、中型)、刈払機、振動工具、				作業人員	4~6名			その他
備考					保安員	1名			

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後			参 考 図 (写 真 等)
				可 能 性	重 大 性	評 価		点 検 ・ 確 認	可 能 性	重 大 性	評 価		
準備工		作業前ミーティング											<p align="center">作業状況</p>
	1	新規入場者のチェックをする	現場、施工方法等について十分な知識を有していない	2	2	4	新規入場者教育の受講	職長	1	2	2		
	2	健康状態を確認する	風邪、飲酒等により正常判断が出来ない	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行い記録する	職長	1	1	1		
	3	服装、保安用具の点検をする	しらすんだーの音が鳴らない	2	1	2	全員で点検を実施する	全員	1	1	1		
		機械・工具等の点検											
	4	朝礼、KYミーティングを行う	漠然と現場に入り事故を起こす	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する	全員	1	1	1		
	5	作業手順の確認をする	各自の作業が分かっていなくて、現場で不安全行動を起こす	3	2	6	個人の作業内容、作業手順を確認する	全員	1	2	2		
	6	規制協議書の確認	協議書通りの規制でない	2	2	4	規制作業内容の確認	全員	1	2	2		
	7	車両点検、荷姿チェックをする	作業車の積荷、スペアタイヤの落下	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを行う	全員	1	2	2		
移動		現場への移動											
	1	交通ルールを守り運転する	人身、物損事故	3	3	9	指差呼称を実施して安全確認する	運転手、助手	1	2	2		
	2	高速道路に入る前にプレート区域の確認	プレート区間外使用、不正使用	2	1	2	通用区間、プレート、車番を確認する	運転手、助手	1	1	1		
	3	規制内及び側道に車両を駐車する	車両が動いて、他のものに接触する	3	2	6	ハンドル切、サイドブレーキ、輪止めを必ずする	全員	1	2	2		
	4	規制設置	台車が勝手に動いて一般車と接触する	2	1	2	ストッパー付台車等を使用して勝手に動かない処置を行う	全員	1	1	1		
本作業		標識看板清掃											
	1	適切な保護具の着用	保護具未装着によるケガ	1	2	2	適切な保護具の着用確認	全員	1	2	2		
	2	職長は、安全管理に心がける	作業員の不安全行動	1	1	1	職長は作業より、安全管理・仕上げ具合に留意する	職長	1	1	1		
	3	施工範囲に露出ケーブルが無い確認	露出ケーブルを草刈り機で切断する	2	3	6	ケーブルにピンクテープを明示し周辺は手鎌で刈る	全員	1	1	1		
	4	標識看板を清掃する	脚立を使用する場合、転倒する	2	2	4	安衛法で定められた正しい脚立の使い方をする	全員	1	2	2		
	5	清掃道具等の積込	荷台から道具が飛散する	2	1	2	飛散ネット等で養生する	全員	1	1	1		
	6	工事車両の移動	移動時に車両と作業員と接触する	1	2	2	声掛け等の意思疎通を行ったのち移動する	全員	1	2	2		
片付け		現場離脱											
	8	荷姿をチェックする	作業車の荷台から物の落下	2	2	4	運行前に積荷のネット養生の確認を行う	全員	1	2	2		
	9	片付け	荷台片付け作業時に一般走行車両と接触する	2	2	4	ロープがけは必ず車線と反対側から行う	全員	1	2	2		
	10	作業車両離脱	一般車両との接触	2	2	4	車両の移動は必ず保安員の指示に従う	運転手	1	2	2		
		”	”	2	2	4	保安員は運転手から見える位置に立つ	保安員	1	2	2		